

『 禅のころ - 曹洞宗 - 』

ごうたん え
降誕会

平成28年4月第1週放送

四月八日は、お釈迦さまのお誕生日です。

毎年この日は、二千五百年以上前にお生まれになった、お釈迦さまのお誕生をお祝する ^{ぎょうじ} 行持、^{ごうたんえ} 「降誕会」が開かれる大切な記念日です。

お釈迦さまは、まさに人の子としてこの世界にお生まれになりました。

私たちと同じように、年を重ね、^{やまい} 病を持ち、そして死することから避けられない「人間」として、お釈迦さまはこの世界に誕生されたのです。

私たちが生きていくうえで必ず直面する、年を重ね、病を持ち、そして死を迎えるという、^{ろう} 老・^{びょう} 病・^し 死は、お釈迦さま自身が、生きていく中で出会った課題そのものでした。

お釈迦さまが誕生して二千五百年以上の年月が経ちました。しかしながら、今この瞬間に生きている私たちにとっても、お釈迦さまが直面された^{ろう} 老・^{びょう} 病・^し 死は、課題として、変わらずに私たちの目の前に現れています。

四月八日には、多くのお寺で^{はなみどう} 「花御堂」という小さなお堂を花いっぱい飾り、^{てん} 右手は天を指さし^{ゆび} 左手は地を指さされた、生まれたばかりのお釈迦さま像に^{あまぢや} 甘茶をかけてお祝いをします。

小さなお子さんからご年配の方まで、たくさんの方が、お釈迦さまへ誕生のお祝いにおいでになります。お寺に集まる方々の年齢や性別は実にさまざまですが、私たちは、この世界にあって、皆同じように^{みな} 「老・病・死」という課題を持つ仲間でもあるのです。そして、お釈迦さまは、その生涯を^{つう} 通じてこの課題に向き合い、生き抜いてこられた大切なお手本となる方なのです。

そのようなお釈迦さまであるからこそ、その^{そくせき} 足跡やみ教えに触れることにより、私たちは、身近に感じ、そのお誕生をお祝いしたくなるのだと思います。

ぜひ、お釈迦さまのお誕生日はお寺にお出掛けになり、甘茶と共に、お釈迦さまに^{した} 親しみを込めて、お祝いの言葉をかけてみてはいかがでしょうか。

— 終 —